

大阪狭山市水循環協議会（第4回） 議事録

開催日時	令和4年11月18日（金） 14時00分～16時00分
開催場所	大阪狭山市文化会館 SAYAKA ホール大会議室（L）
出席者	遠藤崇浩委員（会長）、上田萌子委員（副会長）、山村歳幸委員、 菊屋英一委員、松原一弘委員、松川元英委員、矢幅保宏委員、栗林禎輔委員、 宍戸英明委員、塩屋泰一委員、上田和徳委員
事務局	水資源部長、水資源部治水対策グループ課長、水資源部治水対策グループ課 長補佐、水資源部治水対策グループ参事、水資源部治水対策グループ主事
傍聴者	0名
議題(案件)	1 開会 2 大阪狭山市水循環計画について 3 審議 4 閉会
配布資料一 覧	資料1 大阪狭山市水循環協議会（第4回）出席者名簿 資料2 大阪狭山市水循環協議会（第4回）座席表 資料3 大阪狭山市水循環協議会（第4回）説明資料（パワーポイント） 資料4-1 大阪狭山市水循環計画書（案）デザイン① 資料4-2 大阪狭山市水循環計画書（案）デザイン② 資料5 大阪狭山市水循環計画書（案）別編 資料6 事業・施策アンケート結果

議事の経過	
発言者	発言の内容
	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 ・委員 14 名中 11 名が出席しており、審議会が成立していることを確認。
事務局	<p>2. 大阪狭山市水循環計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料説明
会長	<p>3. 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画書を 3 部構成にするという想定についてご意見をお尋ねします。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が見るものは、本編と別編だけか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで閲覧可能とし、概要版、本編、別編のすべてをご覧いただけるように公開する。市民が実際に手に取って気軽にお覧いただけるものとしては、概要版と本編が主になると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの、子どもからの回収率が良くなかったとのことだが、子どもたちの関心を高めることを目的として、別途子ども向けのリーフレットを作成するなどもあり得るのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はまず計画を立てることが主であり、次年度以降に重要な施策として、水環境の次世代への継承や教育普及を位置付けていく必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・このようなカラー印刷のわかりやすい計画書はこれまでにあまり見たことがないが、これを市民にご覧いただいてどれほどの理解が深められるのかは少し疑問だ。本編はデザイン案①・②のいずれかを選ぶということか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書本編のデザインはこれで決定ではなく、まだ改定の余地はあるということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回お示したデザイン案は、後日専門のデザイン作業をかける前段階のものであり、全体の雰囲気を見てデザイン案のいずれかをお決めいただき、その後、デザインを完成させることになる。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3部構成に異論はない。概要版は本編そのままの計画の概要ではなく、それを読んだ市民のアクションにつながるような中身にしたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・概要版の中身については、私も同様の意見。中身の話については、次の段階で決めていきたいと思うが、計画書は本編・別編・概要版の3部構成とするという点については、委員のみなさんよろしいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書は紙だけでなく、デジタルベースが必要。市民の方がスマホ等で閲覧できるような形がよいと思うので、10ページくらいに簡潔にまとめた本編を作るとよいと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルベースでの配布には、別途費用が必要となるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書のPDF版が印刷物と併せて納品される。スマホ等で閲覧しやすいようなデザインの本編・概要版の印刷物を制作し、このPDF版を市ウェブサイトに掲載するのであれば、別途費用は発生しない。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本編・別編・概要版の3部構成で作ることには賛成。構成は良いが、見せ方に工夫が必要。どのような水の資源のネットワークがあり、そこで将来どのようなことが行われるのかといったイメージが絵として描かれ、大阪狭山市全体の俯瞰図のようなもので示して、未来の姿をイメージとして把握できると良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・概要版と本編の表紙は同じデザインになるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・概要版はページ数がきわめて限られているため、情報量の関係で若干の調整が必要となることも想定されるが、本編と共通のデザインイメージで制作したいと考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、計画書の構成について決を採る。本編・別編・概要版の3つで作るということよろしいか。 <p>→全員賛成</p> <p>本編・別編・概要版の3部構成で作成するということが承認された。つぎに、デザイン案は、明るいポップな感じのデザイン案1と、いぶし銀的でシックなデザイン案2とどちらがいいか。多数決を採る。</p> <p>→多数決で、デザイン案1に決定。</p>

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・では、デザイン案1で作成を進めるということで。中身の話に移るが、先ほど副会長から大阪狭山市の水循環の全体像が示されていないのではないかという、非常に重要な指摘があった。そのような、ここを少し変えた方が良いのではといったアイデアがあればご指摘を。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードを計画書紙面の各所に掲載して、ウェブ上の情報や動画にリンクさせ、スマホ等でより詳しい情報にアクセスできれば良いのではないか。8つの施策ごとにウェブ上の情報へ導く等すれば望ましい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本編はデザイン案1で作成を進めることになったが、デザイン案2の本本文中の表現では、大きくて目立つ効果的な文字サイズが使われている等の良い点もあるので、デザインの良いところを活用すべき。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・強調すべき文言は大きく、その他は小さくデザインして配置したり、イラストや写真も見開きページの中で一つだけ大きくデザインして配置し、他は小さく抑えたり等、そういった印刷刊行物デザインのルールやマナーを、現在の案ではまだちゃんと実現できていない。受託者の方で、本格的なデザイン作業に移る際には、委員からご指摘いただいた留意点を、事務局からしっかり指示させていただこうと考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン案1の読み手・ターゲットはどこに設定しているのか。たとえば、本編・別編は難しい用語を使っておとなを対象とし、概要版は小学生新聞並みの柔らかい表現方法を用いて子どもを対象とする等、本編・別編と概要版とで読者層のターゲットを変えるとか、区分けをしたほうがよい。また、概要版をかんたん一枚ものとして学校側にPDFデータを教材として渡せば、小中学校の教育現場でも負担なく配布できると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の取り組みとして、地域の学習というものがあり、子どもが地域のおじいちゃんやおばあちゃんたちから聞き取りを行ったり、地域の人に学校に来てもらって野菜や花を育てたりする。そうした地域学習に役立つものを作成できればと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私はデザイン案2が良いと思っていたので、少し意見を述べておきたい。デザイン案1は市のマスコットキャラクターさやりのイラストを多用しすぎており見づらい。もう少し減らすべき。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・総じてターゲットがわかり辛い。概要版は子ども向けとして授業で使ってもらえるようなものを作り、本編はおとな向けにするのがよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階の計画書本編は、計画そのものを説明する構成だが、市民のアクションのようすが見えてこない。将来の大阪狭山の水循環の具体的な姿を示して、そのために必要な市民のアクションを計画書に明記すべき。概要版と本編では、計画そのものの説明ではなく、市民のアクションにつながる要素を強化して表記してほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けか、大人向けか、いろいろな意見もあり、全世代向けの総括的なものとなっても手間ばかりがかかり、民意の得られない計画となってしまうおそれがある。総括的に作成するのは難しいので、当協議会として、たとえば、ターゲットを子どもと決めてしまうのもよいのではないか。子どもの環境学習などの教材としてえるものを作って、子どもに興味を持ってもらい、おとなを巻き込むなど。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書に基づいて行動を起こしてもらうことが大事。3つの目標、8つの施策の色を系統立てるなどわかりやすくすべき。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・何のため、誰に向かって作っているのかによってデザイン性に影響する。子ども向けとするなら、何を伝えるかを絞り、施策がどのように展開して、みんなの生活にどのように役立っているのかをメインにしなければならぬ。子ども向けでしっかりまとめるべき。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の意見を取りまとめると、計画書のターゲットをもう少し絞り、計画書の中身もそれに応じたものとするという意見となる。事務局において、本編と概要版のそれぞれのターゲットを誰にするかを精査し、案の練り直しを行うこと。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・未来の姿のキャッチフレーズを頂戴したい。
	<p>キャッチフレーズに係るキーワード</p>
委員	<p>近くて遠い水 共生 あたらしい公共事業 みんなでまもる 共に創る狭山の未来</p>
委員	<p>みずはたいせつ たいせつなみず</p>
委員	<p>近くて遠い水などの、何だろうかと思うようなことば</p>

委員	水が育む豊かな暮らし
委員	いのちみず（命水）
委員	（大阪狭山市での池普請の歌からとるのがよいのでは。）
委員	水を大切にすれば、生活に還ってくる
委員	水と共に
委員	水の循環が命の循環をもたらす
会長	（水の環（わ）プロジェクト など）
委員	まわれみず、めぐりみず
会長	・計画の期間についてご意見いただきたい。
副会長	・「計画の見直し」は必須なので、計画の期限がないことには違和感がある。社会状況は変化していくので、節目で全体の見直しの必要がある。
事務局	・計画期間を定めないというのは語弊があり、従前までのご提案として、第1案は10年、第2案は8年、第3案は全体計画を定めないが施策ごとに短期・中期・長期等の個別に期間を定めるという選択肢を用意していた。なんとなく、第3案でという雰囲気できていたが、やはり、将来における見直しのタイミングをあらかじめ決めておくのは、この計画を次世代へ送っていく上で大切と思うため、そのあたりをご教示いただきたい。
委員	・5年、10年等の計画見直しのタイミングはあった方がよい。
委員	・計画と施策のアクションプランの扱いを分けるような方法もあるのではないか。社会状況の変化もあるため、計画書本編は5年ごとにレビュー、施策は施策ごとに1年や3年ごとのアクションプランで実行する等。
委員	・認知されることが大きな指標になる。外部の人に見てもらおうという目的・視点が必要である。計画がよい方向に向かっているか、悪い方向に向かっているかを10年ぐらいで確認するのもよい。
会長	・全体をレビューするための節目の期間が設けられていた方がよい。また、個別施策は1年毎にレビューするのがよい。マスタープランの変更時期を3年とするか5年とするか10年とするかは、事務局側で考えていただきたい。

会長	<ul style="list-style-type: none"> 資料6の滋養施策アンケートのまとめを計画に記載する方向で考えているが、その是非をご審議いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「クリーンアクション」だけでは、詳細な内容が分からない。「狭山池クリーンアクション」と正しく記載いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 一般の方の取組が拾い切れていない印象。取り組んでいる方がこれを見ると、自分たちの活動が掲載されていないことに違和感が生じるのでは。最初にしっかりと一般の方の取組を拾っておくべき。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 情報を拾い上げるチャンネルは存在しているのか。定期的な見直しが必要ではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 所管部署から情報を収集しているが全てを把握できているわけではない。水に関する取組は多岐に渡るため、単純にすべて吸い上げられるというわけではない。今後、機械的に一律で調査するというスタイルではなく、市民活動状況に合わせて、個別にその団体へアプローチし、関連団体として適宜記載させていただくという活動を継続していく必要がある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> そういう意味ではやはり、定期的な見直しの段階で、把握できていなかった団体の活動情報を計画に追加していくといったことが大切になる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 事業施策アンケートは協議会委員のみ、特定の対象のものとなっているので、お気づきの点があれば事務局まで情報提供いただきたい旨を計画書に記載しておき、見直し段階でこれを追加していくというのはいかがでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 施策は掲載してもよい。推進体制が協議会に限定され、構成員（行政機関中心）が行っている内容に限定されている印象。そのほかの活動は、これから広がっていくという書きぶりにすればいいのではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 他都市の水結制度（水に関するサポーター制度）などを参考に、大阪狭山市独自の加盟制度・参加制度のようなものがあればよい。関連団体を固定的な状態としてしまうと、先々詰んでくると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> インターネットのホームページ上で個別の取組については順次更新するなどの方法も考えられる。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・円卓会議や自治会地区会連合会に地域の情報が全て集まるわけではない。市民活動が十分に拾い切れていない印象。細かな活動も把握した上で掲載するべきである。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・8つの施策のカテゴリ分けに異論はないが、エリアごとの特性も異なると思われる。エリアごとの特性・課題、エリアごとの議論を今後どの様に扱うか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本市水循環計画は初めての試みでもあり、市民活動に関する個別の情報は十分に把握できていない。今後、計画を推進していく中で、エリア毎に細分化した対応の可能性も必要な場合には検討したい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他何か意見や質問があれば。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育」の施策は、学校教育だけでなく、社会教育活動を入れて欲しい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアが行政寄り（協議会構成員目線が強い）の印象。市民の活動が広がるようなものが好ましい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン案の表紙で、「大阪狭山市 みずガイド」と記載されており、観光案内ガイドのような印象となっている。表現を変えるべき。また、本文を読んでも答えがない質問を表紙に入れるのはよろしくない。仕掛けを作るのは良いが、つじつまの合う形で記載いただきたい。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・計画書記載の推進体制は、多くの関係者が連携して一丸となって取り組んでいくとされているが、市行政内部の部局間の連携もしっかりお願いしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・日帰りで近場の観光という視点があっても良い。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日予定していた議事等を終了する。
事務局	<p>4. 閉会</p> <p style="text-align: right;">(以上)</p>